



大分青年会議所毎年恒例の一大事業である、大分七夕まつりの二日目のフィナーレを飾る「七夕プロドウェイ 2016 ～ドギモを抜かれる夜が来る。～」が8月6日に開催されました！今年も多くの学生ボランティアの参加のもと、青年会議所メンバーとともに大分の夜空に打ち上げるべく 21,000 個ものバルーンを作成いたしました。

参加者全員の協力もあり無事バルーンを作成した後、出陣式において担当委員会である故郷のまつり創造委員会の赤川委員長より決意表明があり、メンバー一同成功を確信し大いに沸き立ちました。

風船のリリースに先立ちまして、大分県警交通機動隊による華麗なるドリル走行、プロライダー木下真輔選手による衝撃的なエクストリームバイクショーが行われ、その観る者をくぎ付けにするパフォーマンスに観客から大きな歓声が上がリ、七夕まつりの夜はさらにヒートアップ！！

そして圧巻のクライマックスは 21,000 個の風船のリリース！大分高等学校吹奏楽部の生演奏に乗せて大分の夜空に色とりどりの風船が舞い上がりました。その息をのむ美しい景色にその場にいた誰もがドギモを抜かれ、今年も大分七夕プロドウェイは大成功の裡に終わりを迎えることができました。

今年のまつり事業が成功に終わったのも、(青年会議所メンバーや)ボランティアの皆様方の支援、そしてイベントに華を添えたパフォーマンスしてくださった方々の力、そしてなによりこのイベントを成功させるために奔走した赤川委員長をはじめとする故郷のまつり創造委員会の皆様の尽力の賜物です。皆様本当にありがとうございました！